

香美町子ども・子育て支援事業計画(令和2年度事業実施状況に係る評価書)

評価項目	評価				評価に対する所感等
	A	B	C	回答なし	
1 教育・保育の供給体制の確保の内容及び実施時期	5	5	1	4	施設単位で考えるべき。数値だけでは見えない課題も考える必要がある。
2 地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと提供体制の確保の内容及び実施時期					
(1) 地域子育て支援拠点事業	7	5	3		香住区の計画との差が大きい。出生数の低下、早期入園傾向の中事業の必要性を考えるべき。
(2) 利用者支援事業	8	6	1		きめ細かな対応が必要である。
(3) 一時預かり事業 (幼稚園における在園児を対象とした一時預かり)	5	8	2		
(4) 一時預かり事業 (幼稚園在園児以外の一時的預かり)	4	6	5		困っている人が利用することを考え、利用料を下げるよう見直しでは補助があげばよい。
(5) 子育て短期支援事業	4	7	3	1	保護者に周知されていない。コロナ禍の中で計画人数が少ない。
(6) 病児保育事業	5	1	9		計画数値と実績数値の差が大きく、計画数値の見直しが必要ではないか。コロナ禍では対応が困難である。診療が必要であり、気軽に利用できないのでは。村岡・小代区でも実施してもらいたい。他の園でも実施してもらいたい。
(7) 時間外(延長)保育事業	7	7	1		延長保育を積極的に受け入れてほしい。
(8) 放課後児童健全育成事業	9	6			
(8-1) ① 放課後児童健全育成事業及び放課後子ども教室を一体的に実施する目標事業量	8	6	1		子ども教室担当課との連携が課題である。
(8-1) ② 放課後子ども教室の実施計画	4	10	1		
(9) 妊婦に対する健康診査	8	6	1		計画数値の見直しが必要である。
(10) 乳児家庭全戸訪問事業	7	6	2		計画数値の見直しが必要である。コロナ禍での訪問方法を考える必要がある。子どもの数が少なくなっており、訪問回数を多くしては消極的である。
(11) 養育支援訪問事業	8	6	1		子どもの数が少なくなっており、訪問回数を多くしては。

評価の基準 A(おおむね達成) B(特に問題なし) C(見直し等が必要)

(評価項目に係る事業概要)

評価項目	事業内容
1 教育・保育の供給体制の確保の内容及び実施時期	教育・保育の量(希望人数)と確保方策(受入人数)における計画
2 地域子ども・子育て支援事業の供給体制の確保の内容及び実施時期	乳幼児及びその保護者が交流を行う場所を設置し、子育ての相談等の援助を行う事業。香住区・村岡区・小代区に子育て支援センターを設置している。
(1) 地域子育て支援拠点事業	子どもやその保護者、妊娠している方が子育て支援を円滑に利用できるように相談や支援を行う事業。事業実施のため、平成28年度に役場(本庁)内に子育て世代包括支援センターを設置している。
(2) 利用者支援事業	幼稚園の降園後や、土曜日、夏休み等の休業期間中に、幼稚園において保育する事業で平成27年度から実施している。令和元年度実績は香住幼稚園と村岡幼稚園。なお、令和2年4月から香住幼稚園のみの実施。
(3) 一時預かり事業 (幼稚園における在園児を対象とした一時預かり)	家庭での乳幼児を保育が一次的に困難になった場合に、保育所等で一次的に預かる事業。
(4) 一時預かり事業 (幼稚園在園児以外の一時預かり)	保護者の病気等の理由で、一次的に家庭で養育できなくなった児童を児童養護施設等で保護する事業で、平成30年度から実施している。
(5) 子育て短期支援事業	保護者の就業のため、病気の子の保育が困難な場合に一次的に保育する事業で、平成30年度から「病児対応型」として香住病院内に病児保育室を設置し、「体調不良児対応型」として香住区の私立保育園2園で実施している。
(6) 病児保育事業	就労形態の多様化に伴い、保育所等での保育時間を延長する必要がある園児に時間外に保育を行う事業。
(7) 時間外(延長)保育事業	放課後児童クラブのことで、学校や幼稚園の放課後や土曜日、夏休み等休業期間中に、児童が安心して生活できる居場所を提供する事業。
(8) 放課後児童健全育成事業	放課後児童クラブ担当課と放課後子ども教室担当課が連携し、一体的に取り組む事業。
(8-1) ① 放課後児童健全育成事業及び放課後子ども教室を一体的に実施する目標事業量	放課後に地域住民等の協力を得て、子どもたちが安心安全で体験学習やスポーツ・文化活動などを行う事業の実施計画に対する実績。
(8-1) ② 放課後子ども教室の整備計画	妊婦健康診査費用を公費助成し経済的負担の軽減を図ることで、健康診査の受診の促進を図る事業。
(9) 妊婦に対する健康診査	乳児のいる家庭を全戸訪問し、乳児や保護者の様子や養育環境を把握し、相談に応じるなどの援助を行う事業。
(10) 乳児家庭全戸訪問事業	子どもの養育支援が必要な家庭を訪問し、養育に関する指導・助言を行う事業。
(11) 養育支援訪問事業	

前回までの子ども・子育て会議における意見等に対するその後の取組

No.	委員からのご質問・ご意見	現在又は今後の取組・考え方など	回答
1	小代子育て・子育て支援センターでは、町社会福祉協議会と同じ建物に入っており、世代間交流事業を社協が実施している。各子育て・子育て支援センターで教育委員会部局が実施する考えはないか。[H29]	子育て・子育て支援センターの事業は、各センターで企画し実施しています。香住センターでは不定期ではありますが、地域の老人会との交流を行っています。村岡区高井センターでは、今年度（令和3年度）村岡こぶし園を訪問しました。小代センターでは定期的に交流事業を行っています。今後各センターで世代間交流も取り入れながら事業を行っていきます。	こども教育課
2	部活をしていない中学生等を預かるサービスがないが、保護者の就労等に影響はないのか。[R元]	放課後児童クラブでは、高学年ほど利用者が少なく、令和2年度の実績で小学校4年以上では町内全体でも各学年10人未満でした。この状況から高学年においては保護者の就労等にあまり影響しないと考えられ、中学生の利用が見込まれないことから中学生の預かりは考えていません。	こども教育課
3	延長保育事業について、同じ保育料で施設によって保育時間が異なるのはおかしいのではないか。[R元]	小代認定こども園では、開所時間を午前7時30分から午後6時までと他の保育所（園）（午前7時から午後7時まで）よりも短くなっています。就労等によりやむを得ない理由がある場合に延長保育を行います。当園では延長保育利用の実績も少なく、これまで保護者からの要望もなかったことから、職員配置の必要性も勘案しこの時間を設定しています。今後、就労状況等の変化により保護者からの要望等が多くなれば、延長時間の拡充も検討します。	こども教育課
4	ファミリー・サポートセンター事業は、町は事業が実施されていないが、認知度が高ければ利用されたケースがあった。フルタイムで勤務している方は忙しい時間等に子どもに対して厳しくしてしまふ場合があると聞くので、事業が活用されれば育児がやりやすくなる。[R元]	ファミリー・サポートセンター事業は、児童を預ける側、預かる側、双方の料金等契約内容の詳細、また事故発生時の責任の所在や事業主体等、様々な課題があり制度導入にあたっては慎重に判断する必要があります。現行代替制度として、乳幼児には各保育所（園）が実施している一時保育、小学生以上には通年となるが放課後児童クラブにて対応しています。	福祉課
5	放課後児童クラブの在り方として、放課後児童ランの実施に必要性があるのか。[R2]	放課後子ども教室は、教室に参加したい人が申し込んで参加しており、放課後児童クラブとの対象者が異なり調整が難しく、令和3年度は余部地区と射添地区の2か所を実施しています。 国は放課後を安全安心に過ごし、全ての児童が多様な体験や活動ができるよう一体的に進めています。地域や家庭の事情もあり可能な範囲での取組としていくとこころです。	こども教育課 生涯学習課

No.	委員からのご質問・ご意見	現在又は今後の取組・考え方など	回答
6	計画において保育士の処遇改善を行うという点とだが、地域差を埋めるためにも、県の改善に加えて町においても改善施策を検討すべきでないか。[R2]	保育士確保については課題として認識していますが、現時点では、取組が十分とは言えませんが、具体的な取組について今後検討します。	こども教育課
7	人口の動向について、子ども子育て支援事業計画では令和27年に子どもの数が半数になるとあるが、現実的にはもっと早い段階でこの状態となると思われる。計画時点で現実を見越した計画を立てておく必要がある。[R2]	子どもの人口については、計画策定の基準日時点で推測するものですが、少子化が計画以上に進むことも予想されます。計画の中間年（令和4年度）に計画の見直しを行うこととなつていきますので、計画策定または計画見直しの都度、その状況に応じた計画内容に修正していききたいと思います。	こども教育課
8	マタニティマークの啓発に、町民の皆さんはどう対応したらよいかかわからないのでは。[R2]	マタニティマークは妊産婦の健康を守るための大切なマークです。健康課では、母子健康手帳交付の際にマタニティマークの付いたキーホルダーや車に貼るステッカーなどのグッズをお渡しして、活用していただくよう取組みを行っています。また、町ホームページや広報誌などを通じて、妊産婦にやさしい環境づくりにご協力いただくため、広く町民の方に対しても啓発を行っています。また、小学校の福祉体験事業等で紹介するなど、機会あるごとにマークの説明を行っており、今後も啓発活動に努めていくこととします。	健康課
9	今後、児童数が減少していく中、民間施設は経営が困難になっていく。子ども・子育て会議で、今後の在り方を検討すべきである。[R2]	今年度、教育委員会では学校再編に向けた各小学校区での懇談会を順次開催し、保護者や地域住民の皆さんの意見をお聞きしています。小学校再編においては、幼稚園の統廃合や保育所（園）の認定こども園化も含めた議論も必要となるため、令和4年度にこれらを一体的に検討し再編計画を策定する予定としています。子ども子育て会議において、進捗状況を報告させていただき、委員の皆さんらのご意見もお聞きする機会も設けたいと思います。	こども教育課
10	スクールカウンセラーへの相談について担任を通さず直接受けられないか。県教育委員会にあるように町教育委員会でも相談を受けるシステムがつくれないか。[R2]	スクールカウンセラーへは担任を通さなければならぬことはなく、話しやすい先生を通して相談いただければと思います。また、スクールカウンセラーを置いておくことの趣旨から、町教育委員会に相談員を配置することは考えていませんので、学校関係者に相談しづらいことがあれば、町などが行っている「心の相談」などその他の相談窓口の利用していただきたいと思います。	こども教育課

No.	委員からのご質問・ご意見	現在又は今後の取組・考え方など	回答
11	2年先、園児が1人になる幼稚園がある。認定こども園化や幼稚園の統合を視野に入れた会議にしてはどうか。[R2]	9番の回答のとおり、令和4年度に学校・就学前施設の再編計画を策定する予定としています。統合そのものに関しては協議の場では協議する予定はありませんが、再編計画の策定後には統合を見据えた子育て支援の取組について協議いただきたいと思います。	こども教育課
12	ファミリー・サポートセンター事業を必要とする家庭があるように思う。保育園での一時預かりでは、利用料が高く利用しにくい。[R2]	ファミリー・サポートセンター事業は、児童を預ける側、預かる側、双方の料金等契約内容の詳細、また事故発生時の責任の所在や事業主体等、様々な課題があり制度導入にあたっては慎重に判断する必要があります。現行代替制度として、乳幼児には各保育所(園)が実施している一時保育、小学生以上には通年となるが放課後児童クラブにて対応しています。	福祉課
13	里帰り出産で子どもを住所地の保育園を退園しないまま保育園を一時保育として利用する方がいる場合、1か月10万円とかになってしまいが、上限額3万円とするなど救済措置を考えていただきたい。[R3]	一時保育事業の趣旨が、就労形態の多様化に伴う一時的な保育や保護者の疾病等による緊急時に対応するためであり、一定期間の保育を想定したものではありません。したがって、制度に上限を設定するなどの措置はできません。	こども教育課
14	子育て支援策として、保育園に主食材料を園に支給する、または主食費相当額を園に補助金を出して園が準備するなど、持参しなくて済むよう主食費を0歳児から5歳児まで完全無償化を検討してもらいたい。[R3]	主食費の無償化については、在宅で保育する家庭との公平性から、完全無償化は考えていません。	こども教育課
15	香美町には就学前施設が多くあるが園児数が非常に少ない施設がある。少子化が進み就学前施設の運営が難しくなっている中で、施設が今までのとおり運営しているのは非常に効率が悪く、この施設の経営を合理化し無駄を省いていけばもっと多くの子育て支援ができるし、しっかりとした支援をしなければ香美町へ帰ってきて子どもを生み育てようという人が益々いなくなると。[R3]	前述のとおり、令和4年度から、教育委員会において、幼稚園の統廃合や保育所(園)の認定こども園化も含めた議論を進め、今後の再編計画を策定する予定としています。	こども教育課

No.	委員からのご質問・ご意見	現在又は今後の取組・考え方など	回答
16	毎朝のことであつたり、入学入園のときの名前書きなど子どもで親がやることが多い。仕事のほかに地域のことも多く、子育て関係のことも増えてくることで、家庭の中で子どもとの時間が作れないことはよくない。学校や園などで今やっていることを削減する方向でチェックしてはどうか。[R3]	※16・17 共通 各学校園では、毎年行事等の見直しを行っています。常に削減の方向で見直ししていますが、不十分ということで改善の提案があれば、学校園に直接お伝えください。学校園で対応させていただきます。	こども教育課
17	入学入園時に制服を買い揃えたり、あまり使わない文房具を新しく買わなくてはならず、改善に向けた話し合いができる機会があればいい。[R3]		健康課
18	保育や子育てに対するいろんな価値観がある中で、子育てや教育の考え方ややり方を提案する場を作ってほしい。また、いろいろな育て方があることを町から発信してはどうか。[R3]	町では、家庭や地域での子育てを進める体制づくりを推進するため、親同士の交流会や子育て教室、子育てセミナーなどを開催して、情報や知識等を共有する機会を提供しています。 また、産後ケアリストを起用して、妊産婦の心と体のケアをはじめ、子育ての先輩のなかかわりで子育て相談等に応じることで子育ての孤立等を予防しています。他にも子どもとのかかわり方や子育ての悩み相談など、育児不安を持つ母親や父親、祖父母(家族)などに寄り添った相談対応やサポート事業についても積極的に取り組んでいます。	健康課
18	香美町は、全国的に見ても(夫婦当たりの)出生率は低いとは言えず、20代から40代の若い世代が減っていることが出生数の減少につながっていることが問題である。[R3]	婚姻数や出生数など、子ども支援施策に関連する資料について可能なものについては情報提供していきます。	こども教育課
19	全国的に学校では、コロナの影響もあって、タブレットを導入してオンライン授業に取り組んでいる。香美町は田舎ではあるが東京や大阪の授業が受け入れられるような最新のWi-Fi環境を整えることが必要ではないか。[R3]	ご指摘のとおり、コロナ禍の影響により、一人1台の児童生徒用タブレットが導入され、機器的にはオンラインでの授業も可能となりましたが、ネット環境が整っていない家庭があることは各校の調査で把握しています。 町として、ネット環境が整っていない家庭には、モバイルWi-Fiルーターを貸出するなどの対応は実施しています。 今後、ますますタブレットの利用が予想されますので、ネット環境の整備については、保護者のご協力をいただきながら、引き続きルーターの貸出により対応していきたいと考えています。	教育総務課

No	委員からのご質問・ご意見	現在又は今後の取組・考え方など	回答
20	他市町の取組として紙おむつ代を助成している市町があり、香美町でも考えては。〔R3〕	健康課では紙おむつ代の助成事業について、取組を検討し政策協議なども行いましたが、様々な子育て支援施策を展開する中で、この事業が本当に必要な支援であるか、一時的な支援になっていないか、本町で子どもを産み育てたいと思える支援につながる施策となっているかなど、単に費用助成だけに留まらないよう十分に検討すべきとして、今後の継続課題となりました。引き続き町民のための子育て支援について検討してまいります。	健康課
21	多胎児の家庭は子育てが大変であり、親が仕事をしていないような場合でもきょうだいの保育園への入園を認めるよう優遇があればよい。〔R3〕	多胎児の場合、保育の負担が大きいことはよく理解できますが、保育所利用の基本的な考え方から、就職していない場合など保育が可能な状態であれば、これを保育が必要と認めることは難しいと考えます。負担部分につきましては、一時保育制度を活用したり、悩みがある場合は子育て子育て支援センターや子育て世代包括支援センターへ相談するよう周知を図っていきます。	こども教育課
22	子ども子育て会議の運営について	子ども・子育て会議においては、子育て支援施策の柱となる子ども子育て支援事業計画について、毎年度委員の皆さんに計画を説明し実績を評価していただくことが最も重要な協議事項と考えます。子ども子育て会議としての施策提案を作り上げてはとのご意見もいただきましたが、計画策定年度を除いては、年間2回程度を予定している会議の中で、時間の制約上難しいと考えます。つきましては、資料を事前配付することで会議当日に多くのご意見や提案を聞かせていただく中で、事務局において具体的な施策の検討を進めていきたいと考えています。また、委員の皆さんから協議事項の提案や協議に関する資料提供の希望がありましたら、可能な限りの対応をさせていただきます。	こども教育課

令和4年度からの子育て支援に関する取組

【健康課】

母子健康手帳交付方法の改善

1 課題

- 母子健康手帳の交付は、本庁健康課、各地域局の窓口で対応し、令和3年度からは保健センターを開設しセンターでも交付するようになったが、保健センターでの交付を希望される方の中に、センターを選んだ理由として妊娠の継続について不安があるため誰にも知られたくないとのことがあった。
- 妊娠初期は体調不良や妊娠に対する不安が大きい。
- 妊娠期からの切れ目ない支援の実施による、保健指導はじめ産前産後に利用できるサービスや制度について周知する事項も増えている。

2 取組内容

(1) 目的

母子健康手帳の交付において、妊娠初期の不安のある妊婦が安心できる環境づくりを行う。

(2) 実施方法

- 保健センターでの母子健康手帳の交付実施日を決め、事前に予約してもらう。ただし、実施日に都合がつかない場合は相談してもらい調整する。
- 各地域局の交付はこれまでと同様に随時交付とし、保健師等が交付できない場合は後日訪問等により保健指導、サービス説明を行う。

【こども教育課】

放課後児童クラブ利用者の多子世帯への支援

1 目的

第2期香美町子ども子育て支援事業計画において、第3子以降の子どもの家庭の経済的支援に取り組むことを明記している。この取組として、放課後児童クラブを利用する第3子以降の子どもを対象に利用料を軽減し、多子世帯の経済的支援を行う。

2 内容

(1) 対象者

放課後児童クラブを利用する子ども(幼稚園児を除く)のうち第3子以降の子ども。ただし所得制限あり。

※ 幼稚園児は、香住幼稚園で行う預かり保育と同じ制度により、既に軽減措置の対象であるため。

(2) 利用料の軽減額

- 利用料の2分の1
- 通常の年間利用者の場合：月額7,000円 → (軽減後)3,500円

(3) 対象者数

- 利用者の1割程度を見込んでいる。

学校再編に関する懇談会

説明資料

令和4年3月

(学校版教育環境会議より)

令和2年度学校版教育環境会議アンケート結果【現状希望比較】

区分 学校名	令和元年度					令和2年度					現状希望 人数増減	比率 増減
	参加者 数①	うち 保護者 数	アン ケート 回答者 数	現状希望		参加者 数①	うち 保護者 数	アン ケート 回答者 数	現状希望			
				人数 ②	比率 ③/④				人数 ②	比率 ③/④		
奥佐津小学校	33	17	33	6	18%	20	14	18	3	15%	-3	-3%
佐津小学校	34	23	32	7	21%	46	22	46	11	24%	4	3%
柴山小学校	64	41	45	25	39%	14	9	14	13	93%	-12	54%
香住小学校	26	14	21	—	—	9	9	9	—	—	—	—
長井小学校	37	21	31	23	62%	25	16	22	17	68%	-6	6%
余部小学校	23	14	20	15	65%	22	14	22	11	50%	-4	-15%
村岡小学校	39	35	39	30	77%	32	31	31	19	59%	-11	-18%
垂塚小学校	41	21	41	31	78%	40	29	32	22	55%	-9	-21%
射添小学校	15	13	15	7	47%	28	20	28	23	82%	16	35%
小代小学校	22	8	22	22	100%	20	10	19	17	85%	-5	-15%
香住第一中学校	30	13	25	—	—	42	17	35	—	—	—	—
村岡中学校	35	33	35	—	—	22	20	22	—	—	—	—
小代中学校	22	8	22	22	100%	20	10	19	15	75%	-7	-25%

*香住小、香住一中及び村岡中は、アンケートにおいて統合に関する設問なし

*小代小及び小代中は、合同開催

令和2年度学校版教育環境会議アンケート結果【統合希望比較】

区分 学校名	令和元年度					令和2年度					統合希望 人数増減	比率 増減
	参加者 数①	うち 保護者 数	アン ケート 回答者 数	今すぐ 統合を希望		参加者 数①	うち 保護者 数	アン ケート 回答者 数	今すぐ 統合を希望			
				人数 ②	比率 ③/④				人数 ②	比率 ③/④		
奥佐津小学校	33	17	33	18	55%	20	14	18	19	65%	-5	10%
佐津小学校	34	29	32	18	59%	46	22	46	28	61%	10	8%
柴山小学校	64	41	45	9	14%	14	9	14	0	0%	-9	-14%
香住小学校	26	14	21	—	—	9	9	9	—	—	—	—
長井小学校	37	21	31	3	8%	25	16	22	5	20%	2	12%
余部小学校	23	14	20	4	17%	22	14	22	7	32%	3	14%
村岡小学校	39	35	39	4	10%	32	31	31	5	16%	1	5%
垂塚小学校	41	21	41	4	10%	40	29	32	7	18%	3	8%
射添小学校	15	13	15	4	27%	28	20	26	1	4%	-3	-23%
小代小学校	22	8	22	0	0%	20	10	19	0	0%	0	0%
香住第一中学校	30	19	25	—	—	42	17	35	—	—	—	—
村岡中学校	35	33	35	—	—	22	20	22	—	—	—	—
小代中学校	22	8	22	0	0%	20	10	19	1	5%	1	5%

*香住小、香住一中及び村岡中は、アンケートにおいて統合に関する設問なし

*小代小及び小代中は、合同開催

令和2年度 学校版教育環境会議参加者の主な評価や意見【小学校】

学校名	参加者の主な評価や意見
奥佐津小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模校なりに工夫して授業している。小規模校ならではの教育、子ども同士の関わりは、魅力がある。今のきめ細やかな授業に満足している。 ・昨日の新聞記事に、豊岡市では「最低でも各学年20人以上の確保を基準に学校規模を設定」とある。香美町とは大きく違うように思うが、どう考えるか尋ねたい。 ・複式では、どのような授業が行われているか。コミュニケーション能力はついているか。 ・本校を卒業した子ども達が、一中に進学することになった。ダイレクトに多人数の中へ進むことになり、ギャップが大きすぎるのではないか。
佐津小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の教育方針や取組がよく分かった。 ・小学校では、基礎学力をしっかり付けてほしいのでこれまで以上にきめ細かな学習指導をお願いしたい。 ・小規模校の強みを活かし、きめ細やかな教育活動がなされていることがよく分かった。 ・発表する場、他学年との交流の場を多く設けることで、一人一人が自分の考えをもって人前で話す力が身についてきたように思う。これは少人数だからこそできる良さだと思う。今後も子どもの自尊感情を高め基礎学力が身につくよう指導していただきたい。 ・たくさん生徒がいるから社会性を持つとは思わない。教育する「場」、中身の「質」を保てる学校であってほしい。 ・教育委員会は近隣他市町の取組(統合に向けた方策)をもっと勉強して、町政に反映してほしい。教育委員会は教育環境会議を行うことで統合に関する責任を保護者・地域に押し付けているように感じる。 ・いつも細やかなご指導をいただいていると感じています。少人数・小規模校のよさを感じておりますが、とても残念ですが今後の人数を見ると統合せざるを得ないのかなと思います。 ・小規模校といえども児童数が少なすぎる。成長するにあたって、やはり「同級生」はとても大事。限られた人間関係だけでなく、もっと競争意識を持たせてほしい。せっかく地元に戻ってきた人も出産、入園、入学を機に町外に流出してしまう。 ・少人数の教育のよさも十分理解できます。しかし、いかにも少なすぎます。子どもたちの選択が限られてかわいそうです。 ・今すぐにも、統合していただきたい。人数が少なくても手厚いのはわかりますが、あまりにも少なすぎる。子どもがいますが、真ん中の子は同級生がいないです。とても不安です。 ・人生の基盤である小学校で学力(勉強)だけが教育ではなく、集団の中で多人数にもまれること。今すぐ統合してください。 ・全地区民の意見(アンケート)が必要と思う。
柴山小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・このコロナ禍で、学校の方で色々取り組んでいただき、親として感謝しています。できないではなく、できるように何か考えて行事などしていただいているので、ありがたく思います。 ・現状のまま学校を存続希望します。 ・色々な対応をすばやくしてほしい。 ・「経済(仕事など)を通してのお金の稼ぎ方」を早い段階で学ばせてほしい。
香住小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の参加が少ないのが残念である。コロナ禍の中での開催で連携がとりにくい状況であるが学校、保護者、地域が一体となって、いい学校、いい地域が作れるようにしていきたい。 ・あいさつはコミュニケーションであり、心がかよって初めて元気なあいさつになると思う。「元気なあいさつ(=大きな声)」だけが前に出ているあいさつが町内で見受けられる。
長井小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の方向性や取組がよく分かった。 ・小規模校の良さを生かしたきめ細やかな指導や一人一人を最大限に生かす指導、そして地域とのつながりを生かした温かみのある長井らしい教育をこれからも頑張ってもらいたい。 ・小学校に求めるもの、中学校に求めるもの、それぞれ何かを考えて、今はこのままいってほしい。このまま児童数減が続けば、統合の時が来ると思うが、今はまだそのときではない。 ・スーパー連携の代わりに少人数のデメリットを埋める取組を早期に考えてほしい。ICT活用ではコミュニケーションの機会が増えるかが疑問である。 ・完全複式学級が続く中、学校統合を考える時期に来ているのではないか。
余部小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業生から「余部小学校で学んで良かった」との率直な思いを聞いて良かった。きめ細かくいろいろと取り組んでいただきありがとうございます。 ・「あまるべ権式まナビ」など、余部小ならではの取り組みに敬意を表します。 ・地域は応援しているので小規模校でがんばってください。 ・小規模校でも見えない良さ、学校の先生のいろんなことを考えてくれる熱心な良さ。たくさんの良さがあると思います。私は大きな学校で育ちました。小規模には常に疑問ばかりでした。考え方が少し変わりました。 ・地区に小学校がなくなることは不安です。 ・小規模の中の学習はいいことも多いと思いますが、やはり不安なところのほうが多いです。意見交換の学習においても人数の少ないことはデメリットが多いと思っています。10人にも満たない人数の中では大体が同じ意見で、「こんな考え方があるのか」と思うことは少ないのではないかと思います。 ・児童数が右肩下がりで、学年によっては0名となると、複式学級の強みもほぼ消えるのではないかと必ず統合は必要になると思う。 ・本校の人数が少なくなったのに、分校は必要ですか。そろそろ本校のみでいくべきだと思います。 ・分校は休校になるとと思いますが、近い将来廃校を考えてほしいです。

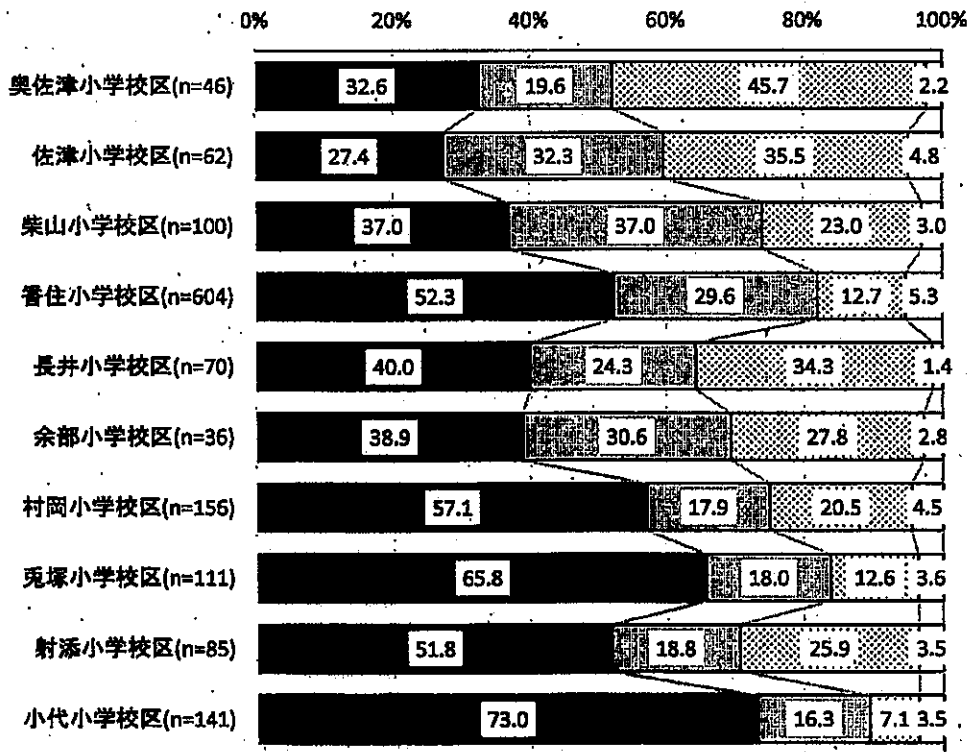
学校再編の意向

【小学校】 教育振興基本計画に関する意向調査【R2.11実施】より

居住校区别では、「維持してほしい」が最も多くなっている小学校区は、小代小学校区（73.0%）と兎塚小学校区（65.8%）、村岡小学校区（57.1%）、香住小学校区（52.3%）、射添小学校区（51.8%）となっており、小代小学校区では7割を超えている。

一方、「学校再編してほしい」が最も多くなっている小学校区は、奥佐津小学校区（45.7%）と佐津小学校区（35.5%）となっており、長井小学校区（34.3%）でも比較的が多くなっている。また、柴山小学校区では「維持してほしい」と「現在の取組を見て判断したい」（ともに37.0%）が並んで最も多くなっている。

■図6-1-6 小学校再編の意向(保護者・町民計:居住校区别)



■維持してほしい □現在の取組を見て判断したい □学校再編してほしい □不明

小規模校のメリット・デメリット

平成27年に文部科学省が作成した「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」では、小規模校には次のようなメリット・デメリットが存在すると示されています。

【メリット】

- ① 一人一人の学習状況や学習内容の定着状況を的確に把握でき、補充指導や個別指導を含めたきめ細かな指導が行いやすい。
- ② 意見や感想を発表できる機会が多くなる。
- ③ 様々な活動において、一人一人がリーダーを務める機会が多くなる。
- ④ 複式学級においては、教師が複数の学年間を行き来する間、児童生徒が相互に学びあう活動を充実させることができる。
- ⑤ 運動場や体育館、特別教室などが余裕をもって使える。
- ⑥ 教材・教具などを一人一人に行き渡らせやすい。
- ⑦ 異年齢の学習活動を組みやすい、体験的な学習や校外学習を機動的に行うことができる。
- ⑧ 地域の協力が得られやすいため、郷土の教育資源を最大限に生かした教育活動が展開しやすい。
- ⑨ 児童生徒の家庭の状況、地域の教育環境などが把握しやすいため、保護者や地域と連携した効果的な生徒指導ができる。

【デメリット】

- ① 集団の中で自己主張をしたり、他者を尊重する経験を積みにくく、社会性やコミュニケーション能力が身につきにくい。
- ② 児童生徒の人間関係や相互の評価が固定化しやすい。
- ③ 協働的な学びの実現が困難となる。
- ④ 教員それぞれの専門性を生かした教育を受けられない可能性がある。
- ⑤ 切磋琢磨する環境の中で意欲や成長が引き出されにくい。
- ⑥ 教員への依存心が強まる可能性がある。
- ⑦ 進学等の際に大きな集団への適応に困難を来す可能性がある。
- ⑧ 多様な物の見方や考え方、表現の仕方に触れることが難しい。
- ⑨ 多様な活躍の機会がなく、多面的な評価の中で個性を伸ばすことが難しい。

児童数の将来推計

(香住区)

令和4年1月現在

小学校名	学年	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
		人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数
	4歳児	0	1	1	1	1	-	-
	5歳児	1	0	1	1	1	1	-
奥佐津小学校	1年	5	1	0	1	1	1	1
	2年	2	5	1	0	1	1	1
	3年	4	2	5	1	0	1	1
	4年	3	4	2	5	1	0	1
	5年	6	3	4	2	5	1	0
	6年	1	6	3	4	2	5	1
	小学校計		21	21	15	13	10	9

小学校名	学年	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
		人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数
	4歳児	5	1	4	4	2	-	-
	5歳児	4	5	1	4	4	2	-
佐津小学校	1年	1	4	5	1	4	4	2
	2年	5	1	4	5	1	4	4
	3年	3	5	1	4	5	1	4
	4年	5	3	5	1	4	5	1
	5年	2	5	3	5	1	4	5
	6年	2	2	5	3	5	1	4
	小学校計		18	20	23	19	20	19

小学校名	学年	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
		人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数
	4歳児	4	9	7	4	4	-	-
	5歳児	6	4	9	7	4	4	-
葉山小学校	1年	5	6	4	9	7	4	4
	2年	8	5	6	4	9	7	4
	3年	8	8	5	6	4	9	7
	4年	12	8	8	5	6	4	9
	5年	11	12	8	8	5	6	4
	6年	7	11	12	8	8	5	6
	小学校計		51	50	43	40	39	35

小学校名	学年	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
		人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数
	4歳児	50	50	49	40	25	-	-
	5歳児	61	50	50	49	40	25	-
香住小学校	1年	61	61	50	50	49	40	25
	2年	57	61	61	50	50	49	40
	3年	57	57	61	61	50	50	49
	4年	72	57	57	61	61	50	50
	5年	61	72	57	57	61	61	50
	6年	51	61	72	57	57	61	61
	小学校計	359	369	358	336	328	311	275

小学校名	学年	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
		人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数
	4歳児	2	7	4	3	1	-	-
	5歳児	5	2	7	4	3	1	-
長井小学校	1年	5	5	2	7	4	3	1
	2年	6	5	5	2	7	4	3
	3年	1	6	5	5	2	7	4
	4年	6	1	6	5	5	2	7
	5年	3	6	1	6	5	5	2
	6年	6	3	6	1	6	5	5
	小学校計	27	28	25	26	29	26	22

小学校名	学年	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
		人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数
	4歳児	3	0	3	1	2	-	-
	5歳児	0	3	0	3	1	2	-
余部小学校	1年	2	0	3	0	3	1	2
	2年	3	2	0	3	0	3	1
	3年	2	3	2	0	3	0	3
	4年	3	2	3	2	0	3	0
	5年	7	3	2	3	2	0	3
	6年	2	7	3	2	3	2	0
	小学校計	19	17	13	10	11	9	9

就学前施設のあり方

○教育・保育の体制

令和3年4月1日現在

学年群	区分	香住区	村岡区	小代区
3年生		新住第一中学校		小代中学校
2年生		新住第一中学校		小代中学校
1年生		新住第一中学校		小代中学校
6年生		佐津小学校	余部小学校	小代小学校
5年生		佐津小学校	余部小学校	小代小学校
4年生		佐津小学校	余部小学校	小代小学校
3年生		佐津小学校	余部小学校	小代小学校
2年生		佐津小学校	余部小学校	小代小学校
1年生		佐津小学校	余部小学校	小代小学校
満6歳	5歳児	佐津幼稚園	余部幼稚園	小代幼稚園
満5歳	4歳児	佐津幼稚園	余部幼稚園	小代幼稚園
満4歳	3歳児	香住保育所	余部幼稚園	小代幼稚園
満3歳	2歳児	香住保育所	余部幼稚園	小代幼稚園
満2歳	1歳児	香住保育所	余部幼稚園	小代幼稚園
満1歳	0歳児	香住保育所	余部幼稚園	小代幼稚園

本町の教育・保育の体制は、合併前の体制を継承しながら現在に至っています。香住区では、公立の保育所と私立の保育園2園、幼稚園は小学校区ごとに6園あり1年保育と2年保育の園が混在しており、村岡区では、平成30年に3保育園(所)が統合し私立の保育園1園、幼稚園は小学校区ごとに1年保育の園が3園あります。小代区は平成23年に3つのへき地保育所を統合して認定こども園が設置されています。

令和2年3月に策定した第2期香美町子ども・子育て支援事業計画において、教育・保育の一体的提供と推進に関する体制の確保を掲げ、就学前教育・保育施設の認定こども園化の議論を進めることとしており、学校再編と一体的に検討する必要があります。

香美町の就学前施設比較表

区域	奥佐津・佐津・長井・余部	柴山・香住・村岡区	小代区
4歳児	<p>【幼稚園】</p> <p>月～金（基本：8時～14時）</p> <p>Ⓢ：土・日・祝、長期休業日</p> <p>学童保育（降園～18時）</p> <p>※土曜日、長期休業日も開設</p> <p>【最大：月～土、8時～18時】</p> <p>保育料（無料）※給食費：有料</p> <p>学童保育料（基本7,000円/月）</p> <p>※月16日以上利用で実質無料</p> <p>通園（徒歩集団登校、バス）</p>	<p>【保育園（所）】</p> <p>※奥佐津・佐津・長井・余部就園可</p> <p>月～土（基本：8時～16時）</p> <p>Ⓢ：日・祝、年末年始</p> <p>延長保育（前1時間、後3時間）</p> <p>【最大：月～土、7時～19時】</p> <p>保育料（無料）※給食費：有料</p> <p>延長保育料（無料）</p> <p>通園（保護者送迎）</p>	<p>【こども園】（2・3号認定）</p> <p>月～土（基本：8時～16時）</p> <p>Ⓢ：日・祝、年末年始</p> <p>延長保育（前30分、後2時間）</p> <p>【最大：月～土、7時30分～18時】</p> <p>保育料（無料）※給食費：有料</p> <p>延長保育料（無料）</p> <p>通園（保護者送迎）</p>
5歳児	<p>【幼稚園】</p> <p>月～金（基本：8時～14時）</p> <p>Ⓢ：土・日・祝、長期休業日</p> <p>学童保育（降園～18時）</p> <p>※土曜日、長期休業日も開設</p> <p>【最大：月～土、8時～18時】</p> <p>保育料（無料）※給食費：有料</p> <p>学童保育料（基本7,000円/月）</p> <p>※月16日以上利用で実質無料</p> <p>通園（徒歩集団登校、バス）</p>	<p>【幼稚園】</p> <p>月～金（基本：8時～14時）</p> <p>Ⓢ：土・日・祝、長期休業日</p> <p>預かり・学童保育（降園～18時）</p> <p>※土曜日、長期休業日も開設</p> <p>【最大：月～土、8時～18時】</p> <p>保育料（無料）※給食費：有料</p> <p>預かり・学童保育料（基本7,000円/月）</p> <p>※月16日以上利用で実質無料</p> <p>通園（徒歩集団登校、バス等）</p>	<p>【こども園】（2・3号認定）</p> <p>月～土（基本：8時～16時）</p> <p>Ⓢ：日・祝、年末年始</p> <p>延長保育（前30分、後2時間）</p> <p>【最大：月～土、7時30分～18時】</p> <p>保育料（無料）※給食費：有料</p> <p>延長保育料（無料）</p> <p>通園（保護者送迎）</p>

別冊 香美町子ども・子育て会議 参考資料

○香美町人口（令和3年4月1日現在、0歳～5歳）

（単位：人）

	地区名	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
香住区	香住地区	23	34	45	46	47	58	253
	奥佐津地区	1	1	1	1	0	1	5
	佐津地区	2	4	4	1	5	3	19
	柴山地区	4	4	7	9	4	6	34
	長井地区	1	6	6	9	5	6	33
	余部地区	3	3	5	1	4	2	18
	計	34	52	68	67	65	76	362
村岡区	村岡地区	4	3	7	3	4	7	28
	兎塚地区	5	5	6	1	4	4	25
	射添地区	1	6	1	7	5	4	24
	計	10	14	14	11	13	15	77
小代区	7	10	11	6	9	8	51	
計	51	76	93	84	87	99	490	

○幼稚園（令和3年4月1日現在）

（単位：人）

	施設名	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
香住区	奥佐津幼稚園					0	1	1
	佐津幼稚園					4	4	8
	柴山幼稚園						6	6
	香住幼稚園						61	61
	長井幼稚園					1	5	6
	余部幼稚園					0	0	0
	計	0	0	0	0	5	77	82
村岡区	村岡幼稚園						7	7
	うづか幼稚園						3	3
	射添幼稚園						4	4
	計	0	0	0	0	0	14	14
計	0	0	0	0	5	91	96	

○保育所（園）（令和3年4月1日現在）

（単位：人）

	施設名	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
香住区	柴山保育所	0	5	12	13	7		37
	みなと保育園	2	10	18	27	26		83
	青葉保育園	4	12	21	30	25		92
村岡区	宝樹保育園	1	9	12	8	12		42
計		7	36	63	78	70	0	254

○認定こども園（令和3年4月1日現在）

（単位：人）

	施設名	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
小代区	小代認定こども園（教育）				0	0	0	0
	小代認定こども園（保育）		2	6	6	9	8	31
計		0	2	6	6	9	8	31

○香美町の婚姻・出生の状況

（単位：件）

	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
婚姻届出数	77	59	45	52	40	38	23
出生届数	131	130	129	119	107	118	103
	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	
婚姻届出数	32	39	31	29	28	34	
出生届数	94	85	103	73	61	53	

※各年は1月～12月

※婚姻届出数及び出生届出数とも、届出日基準の件数

令和2年国勢調査（行政区別人口世帯集計）

行政区	令和2年国勢調査				平成27年国勢調査				人口増減		世帯増減	
	総数	男	女	世帯数	総数	男	女	世帯数	総数	比率		
香美町	16,064	7,636	8,428	5,912	18,070	8,659	9,411	6,228	-2,006	89%	-316	
香住地区	境	295	138	157	117	317	146	171	121	-22	93%	-4
	一日市	796	365	431	282	976	508	468	299	-180	82%	-17
	若松	735	365	370	262	789	397	392	272	-54	93%	-10
	香住	1,481	672	809	559	1,578	740	838	553	-97	94%	6
	西香住	266	128	138	103	319	159	160	122	-53	83%	-19
	七日市	283	139	144	110	307	152	155	117	-24	92%	-7
	駅前	811	403	408	308	864	413	451	300	-53	94%	8
	森	561	239	322	186	643	284	359	196	-82	87%	-10
	間室	79	41	38	34	99	55	44	38	-20	80%	-4
	油良	73	31	42	26	83	39	44	27	-10	88%	-1
	矢田	179	124	55	32	93	47	46	29	86	192%	3
下浜	538	268	270	184	582	274	308	193	-44	92%	-9	
小計	6,097	2,913	3,184	2,203	6,650	3,214	3,436	2,267	-553	92%	-64	
奥佐津地区	九斗	22	10	12	11	30	15	15	11	-8	73%	0
	米地	25	11	14	10	27	12	15	10	-2	93%	0
	丹生地	87	39	48	29	109	53	56	31	-22	80%	-2
	西下岡	35	12	23	14	43	16	27	16	-8	81%	-2
	下岡	121	53	68	41	163	76	87	45	-42	74%	-4
	上岡	77	38	39	26	89	44	45	26	-12	87%	0
	隼人	104	48	56	38	130	65	65	39	-26	80%	-1
	畑	84	46	38	30	100	56	44	30	-16	84%	0
	大槻	24	13	11	8	28	16	12	8	-4	86%	0
	三川	11	6	5	4	15	8	7	5	-4	73%	-1
	土生	18	7	11	9	22	10	12	10	-4	82%	-1
本見塚	1	1	-	1	1	1	-	1	0	100%	0	
小計	609	284	325	221	757	372	385	232	-148	80%	-11	
佐津地区	相谷	68	36	32	24	90	47	43	25	-22	76%	-1
	奥安木	47	21	26	18	56	23	33	20	-9	84%	-2
	浜安木	65	31	34	25	81	40	41	26	-16	80%	-1
	訓谷	314	137	177	115	348	156	192	112	-34	90%	3
	無南垣	280	132	148	98	294	145	149	100	-14	95%	-2
小計	774	357	417	280	869	411	458	283	-95	89%	-3	
栗山地区	浦上	124	59	65	39	134	63	71	43	-10	93%	-4
	上計	677	317	360	241	769	368	401	255	-92	88%	-14
	沖浦	361	184	177	132	406	192	214	140	-45	89%	-8
小計	1,162	560	602	412	1,309	623	686	438	-147	89%	-26	
長井地区	守柄	134	58	76	47	150	71	79	47	-16	89%	0
	加鹿野	123	65	58	40	124	61	63	40	-1	99%	0
	三谷	72	36	36	28	89	48	41	31	-17	81%	-3
	大谷	132	66	66	38	137	72	65	43	-5	96%	-5
	大野	85	41	44	28	86	41	45	30	-1	99%	-2
	小原	134	67	67	48	155	76	79	48	-21	86%	0
	中野	49	23	26	17	55	24	31	18	-6	89%	-1
	藤	21	-9	12	6	20	7	13	6	1	105%	0
	八原	65	35	30	23	78	41	37	26	-13	83%	-3
小計	815	400	415	275	894	441	453	289	-79	91%	-14	
余部地区	市午	102	51	51	34	124	66	58	41	-22	82%	-7
	梶原	48	22	26	17	56	25	31	17	-8	86%	0
	浜	152	72	80	56	196	100	96	78	-44	78%	-22
	西	131	63	68	44	141	60	81	46	-10	93%	-2
	御崎 鑑	46	23	23	16	55	24	31	16	-9	84%	0
小計	631	302	329	217	738	349	389	250	-107	86%	-33	
香住区計	10,088	4,816	5,272	3,608	11,217	5,410	5,807	3,759	-1,129	90%	-151	

※1：若潮寮 一日市から移転

行政区	令和2年国勢調査				平成27年国勢調査				人口増減		世帯増減	
	総数	男	女	世帯数	総数	男	女	世帯数	総数	比率		
村岡地区	東上	110	51	59	40	132	62	70	47	-22	83%	-7
	東中	81	41	40	29	83	46	37	27	-2	98%	2
	本町	64	33	31	26	68	33	35	28	-4	94%	-2
	野々上	68	40	28	25	83	48	35	30	-15	82%	-5
	殿町	52	20	32	25	54	24	30	26	-2	96%	-1
	水上	78	21	57	13	92	29	63	19	-14	85%	-6
	川上	83	36	47	34	92	50	42	34	-9	90%	0
	中西	88	40	48	24	102	45	57	27	-14	86%	-3
	新町	98	41	57	48	113	49	64	50	-15	87%	-2
	西本町	128	54	74	64	170	81	89	71	-42	75%	-7
	用野	32	13	19	15	39	17	22	15	-7	82%	0
	鹿田	82	40	42	25	66	31	35	21	16	124%	4
	相田	39	19	20	14	37	15	22	13	2	105%	1
	神坂	58	28	30	17	70	32	38	19	-12	83%	-2
	萩山	87	43	44	30	87	42	45	31	0	100%	-1
	板仕野	76	38	38	29	99	50	49	32	-23	77%	-3
	大懸	55	27	28	24	73	39	34	26	-18	75%	-2
	光陽	109	54	55	41	118	61	57	39	-9	92%	2
	高井	77	41	36	34	88	43	45	35	-11	88%	-1
	寺河内	95	56	39	37	107	59	48	38	-12	89%	-1
耀山	62	27	35	27	68	29	39	26	-6	91%	1	
市原	91	45	46	52	85	35	50	36	6	107%	16	
小計	1,713	808	905	673	1,926	920	1,006	690	-213	89%	-17	
兔塚地区	福岡	265	124	141	107	307	152	155	120	-42	86%	-13
	八井谷	59	32	27	21	64	34	30	22	-5	92%	-1
	大野	45	20	25	22	53	23	30	22	-8	85%	0
	口大谷	109	60	49	44	130	71	59	45	-21	84%	-1
	中大谷	77	40	37	29	81	42	39	29	-4	95%	0
	大笹	134	71	63	45	161	83	78	49	-27	83%	-4
	高坂	46	19	27	19	51	22	29	19	-5	90%	0
	池ヶ平	20	11	9	10	28	15	13	10	-8	71%	0
	和池	90	38	52	25	109	43	66	34	-19	83%	-9
	森脇	30	13	17	12	38	18	20	12	-8	79%	0
	黒田	102	51	51	42	113	57	56	42	-11	90%	0
	宿	157	74	83	50	182	85	97	52	-25	86%	-2
	日影	174	84	90	56	194	90	104	69	-20	90%	-13
作山	13	5	8	8	19	6	13	10	-6	68%	-2	
小計	1,321	642	679	490	1,530	741	789	535	-209	86%	-45	
射添地区	入江	96	40	56	44	106	46	60	50	-10	91%	-6
	和佐父	32	13	19	12	36	15	21	13	-4	89%	-1
	和田	74	33	41	30	86	38	48	34	-12	86%	-4
	長板	128	57	71	49	145	67	78	50	-17	88%	-1
	熊波	72	36	36	31	84	44	40	32	-12	86%	-1
	祖岡	124	50	74	59	150	62	88	61	-26	83%	-2
	丸味	25	12	13	8	38	19	19	12	-13	66%	-4
	川会	140	63	77	43	150	70	80	43	-10	93%	0
	高津	111	58	53	45	130	62	68	51	-19	85%	-6
	長須	49	23	26	18	58	27	31	20	-9	84%	-2
	味取	152	77	75	59	151	74	77	59	1	101%	0
	原	41	21	20	15	69	35	34	20	-28	59%	-5
	長瀬	75	38	37	27	85	44	41	29	-10	88%	-2
	山田	85	43	42	38	106	50	56	42	-21	80%	-4
	小城	11	6	5	7	19	9	10	9	-8	58%	-2
境	17	10	7	7	19	10	9	7	-2	89%	0	
小計	1,232	580	652	492	1,432	672	760	532	-200	86%	-40	
村岡区計	4,266	2,030	2,236	1,655	4,888	2,333	2,555	1,757	-622	87%	-102	

行政区	令和2年国勢調査				平成27年国勢調査				人口増減		世帯増減
	総数	男	女	世帯数	総数	男	女	世帯数	総数	比率	
神場	24	12	12	15	40	20	20	20	-16	60%	-5
広井	57	25	32	18	64	27	37	20	-7	89%	-2
水間	88	45	43	35	104	52	52	34	-16	85%	1
野間谷	40	16	24	15	42	18	24	17	-2	95%	-2
実山	57	29	28	31	54	29	25	27	3	106%	4 ※2
平野	42	19	23	15	54	26	28	16	-12	78%	-1
茅野	69	36	33	35	87	43	44	40	-18	79%	-5
新屋	104	51	53	47	141	72	69	56	-37	74%	-9
秋岡	220	103	117	68	233	105	128	75	-13	94%	-7
東垣	24	13	11	11	27	14	13	12	-3	89%	-1
佐坊	49	22	27	22	58	27	31	25	-9	84%	-3
鍛冶屋	47	23	24	19	50	23	27	18	-3	94%	1
貫田	108	50	58	39	123	57	66	37	-15	88%	2
忠宮	62	26	36	25	60	27	33	24	2	103%	1
久須部	16	5	11	9	22	9	13	11	-6	73%	-2
大谷	303	144	159	112	348	171	177	127	-45	87%	-15
城山	104	53	51	43	113	53	60	45	-9	92%	-2
神水	218	84	134	54	237	95	142	58	-19	92%	-4
石寺	66	27	39	31	81	34	47	37	-15	81%	-6
猪之谷	12	7	5	5	21	11	10	8	-9	57%	-3
熱田	X	X	X	X	6	3	3	5			※2
小代区計	1,710	790	920	649	1,965	916	1,049	712	-255	87%	-63

※2：熱田を実山に合算

令和2年国勢調査（行政区別人ロ集計_年代別）

行政区	人数						割合			限界集落	
	総数	0-14歳	15-64歳	65歳以上	(75歳以上)	(85歳以上)	0-14歳	15-64歳	65歳以上		
香美町	16,064	1,661	7,870	6,530	3,732	1,498	10.3%	49.0%	40.6%		
香住地区	境	295	27	156	112	59	18	9.2%	52.9%	38.0%	
	一日市	796	96	387	313	183	64	12.1%	48.6%	39.3%	
	若松	735	89	400	246	147	48	12.1%	54.4%	33.5%	
	香住	1,481	185	784	510	274	91	12.5%	52.9%	34.4%	
	西香住	266	26	130	110	57	16	9.8%	48.9%	41.4%	
	七日市	283	42	151	90	48	19	14.8%	53.4%	31.8%	
	駅前	811	130	442	239	130	35	16.0%	54.5%	29.5%	
	森	561	85	275	201	128	57	15.2%	49.0%	35.8%	
	間室	79	4	41	34	20	3	5.1%	51.9%	43.0%	
	油良	73	6	29	38	15	4	8.2%	39.7%	52.1%	✓
	矢田	179	9	136	34	19	7	5.0%	76.0%	19.0%	
	下浜	538	75	297	166	82	22	13.9%	55.2%	30.9%	
小計	6,097	774	3,228	2,093	1,162	384	12.7%	52.9%	34.3%		
奥佐津地区	九斗	22	0	8	14	6	2	0.0%	36.4%	63.6%	✓
	米地	25	0	11	14	9	1	0.0%	44.0%	56.0%	✓
	丹生地	87	7	42	38	24	11	8.0%	48.3%	43.7%	
	西下岡	35	2	21	12	5	1	5.7%	60.0%	34.3%	
	下岡	121	5	64	52	24	10	4.1%	52.9%	43.0%	
	上岡	77	8	43	26	17	5	10.4%	55.8%	33.8%	
	隼人	104	8	51	45	17	8	7.7%	49.0%	43.3%	
	畑	84	5	43	36	19	9	6.0%	51.2%	42.9%	
	大楯	24	1	11	12	8	4	4.2%	45.8%	50.0%	✓
	三川	11	2	5	4	1	-	18.2%	45.5%	36.4%	
土生	19	1	6	12	8	5	5.3%	31.6%	63.2%	✓	
本見塚	X	X	X	X	X	X					
小計	609	39	305	265	138	56	6.4%	50.1%	43.5%		
佐津地区	相谷	68	2	39	27	10	3	2.9%	57.4%	39.7%	
	奥安木	47	0	14	33	17	9	0.0%	29.8%	70.2%	✓
	浜安木	65	2	30	33	19	5	3.1%	46.2%	50.8%	✓
	馴谷	314	33	175	106	68	27	10.5%	55.7%	33.8%	
	無南垣	280	26	137	117	74	33	9.3%	48.9%	41.8%	
小計	774	63	395	316	188	77	8.1%	51.0%	40.8%		
舞山地区	浦上	124	9	67	48	28	11	7.3%	54.0%	38.7%	
	上計	677	73	347	257	128	34	10.8%	51.3%	38.0%	
	沖浦	361	39	177	145	67	23	10.8%	49.0%	40.2%	
小計	1,162	121	591	450	223	68	10.4%	50.9%	38.7%		
長井地区	守柄	134	12	70	52	25	18	9.0%	52.2%	38.8%	
	加鹿野	123	16	62	45	23	7	13.0%	50.4%	36.6%	
	三谷	72	6	40	26	16	3	8.3%	55.6%	36.1%	
	大谷	132	26	65	41	22	6	19.7%	49.2%	31.1%	
	大野	85	6	45	34	22	8	7.1%	52.9%	40.0%	
	小原	134	16	61	57	27	5	11.9%	45.5%	42.5%	
	中野	49	5	21	23	10	3	10.2%	42.9%	46.9%	
	藤	21	3	11	7	3	3	14.3%	52.4%	33.3%	
八原	65	5	32	28	15	2	7.7%	49.2%	43.1%		
小計	815	95	407	313	163	55	11.7%	49.9%	38.4%		
余部地区	市午	102	14	45	43	21	9	13.7%	44.1%	42.2%	
	梶原	48	0	18	30	17	11	0.0%	37.5%	62.5%	✓
	浜	152	13	81	58	34	12	8.6%	53.3%	38.2%	
	西	131	8	70	53	29	18	6.1%	53.4%	40.5%	
	御崎 鎧	46	4	25	17	7	3	8.7%	54.3%	37.0%	
小計	631	58	307	266	144	70	9.2%	48.7%	42.2%		
香住区計	10,088	1,150	5,233	3,703	2,018	710	11.4%	51.9%	36.7%		

※1
※1

※1：本見塚を土生に合算

行政区	人数						割合			限界集落
	総数	0-14歳	15-64歳	65歳以上	(75歳以上)	(85歳以上)	0-14歳	15-64歳	65歳以上	
東上	110	8	57	45	25	7	7.3%	51.8%	40.9%	
東中	81	9	39	33	27	10	11.1%	48.1%	40.7%	
本町	64	2	29	33	18	7	3.1%	45.3%	51.6%	✓
野々上	68	5	31	32	19	5	7.4%	45.6%	47.1%	
殿町	52	3	21	28	17	6	5.8%	40.4%	53.8%	✓
水上	78	0	13	65	53	42	0.0%	16.7%	83.3%	※2
川上	83	7	43	33	19	10	8.4%	51.8%	39.8%	
中西	88	12	29	47	40	25	13.6%	33.0%	53.4%	✓
新町	98	3	50	45	23	10	3.1%	51.0%	45.9%	
西本町	128	9	67	52	31	12	7.0%	52.3%	40.6%	
用野	32	2	12	18	13	7	6.3%	37.5%	56.3%	✓
鹿田	82	19	40	23	14	7	23.2%	48.8%	28.0%	
相田	39	3	21	15	10	5	7.7%	53.8%	38.5%	
神坂	58	7	30	21	9	4	12.1%	51.7%	36.2%	
秋山	87	8	44	35	22	7	9.2%	50.6%	40.2%	
板仕野	76	7	27	42	22	5	9.2%	35.5%	55.3%	✓
大糠	55	1	25	29	10	3	1.8%	45.5%	52.7%	✓
光陽	109	14	70	25	7	3	12.8%	64.2%	22.9%	
高井	77	6	33	38	19	6	7.8%	42.9%	49.4%	
寺河内	95	7	41	47	26	6	7.4%	43.2%	49.5%	
耀山	62	0	27	35	15	8	0.0%	43.5%	56.5%	✓
市原	91	5	47	39	22	11	5.5%	51.6%	42.9%	
小計	1,713	137	796	780	461	206	8.0%	46.5%	45.5%	
福岡	265	23	135	107	66	26	8.7%	50.9%	40.4%	
八井谷	59	2	29	28	21	8	3.4%	49.2%	47.5%	
大野	45	2	16	27	18	10	4.4%	35.6%	60.0%	✓
口大谷	109	4	52	53	34	13	3.7%	47.7%	48.6%	
中大谷	77	5	47	25	12	4	6.5%	61.0%	32.5%	
大笹	134	18	74	42	26	14	13.4%	55.2%	31.3%	
高坂	46	3	17	26	14	4	6.5%	37.0%	56.5%	✓
池ヶ平	20	0	11	9	4	2	0.0%	55.0%	45.0%	
和池	90	13	43	34	21	9	14.4%	47.8%	37.8%	
森脇	30	0	16	14	7	2	0.0%	53.3%	46.7%	
黒田	102	7	38	57	24	6	6.9%	37.3%	55.9%	✓
宿	157	18	69	70	50	17	11.5%	43.9%	44.6%	
日影	174	23	86	65	31	9	13.2%	49.4%	37.4%	
作山	13	0	4	9	3	1	0.0%	30.8%	69.2%	✓
小計	1,321	118	637	566	331	125	8.9%	48.2%	42.8%	
入江	96	10	50	36	30	8	10.4%	52.1%	37.5%	
和佐父	32	4	12	16	11	6	12.5%	37.5%	50.0%	✓
和田	74	8	35	31	18	3	10.8%	47.3%	41.9%	
長板	128	16	55	57	37	12	12.5%	43.0%	44.5%	
熊波	72	3	26	43	22	14	4.2%	36.1%	59.7%	✓
祖岡	124	2	46	76	45	21	1.6%	37.1%	61.3%	✓
丸味	25	3	10	12	9	4	12.0%	40.0%	48.0%	
川会	140	16	61	63	45	28	11.4%	43.6%	45.0%	
高津	111	0	46	65	36	20	0.0%	41.4%	58.6%	✓
長須	49	10	22	17	11	8	20.4%	44.9%	34.7%	
味取	152	13	68	71	41	24	8.6%	44.7%	46.7%	
原	41	1	19	21	12	3	2.4%	46.3%	51.2%	✓
長瀬	75	9	37	29	19	11	12.0%	49.3%	38.7%	
山田	85	5	26	54	33	21	5.9%	30.6%	63.5%	✓
小城	11	0	7	4	2	1	0.0%	63.6%	36.4%	
境	17	0	6	11	4	1	0.0%	35.3%	64.7%	✓
小計	1,232	100	526	606	375	185	8.1%	42.7%	49.2%	
村岡区計	4,266	355	1,959	1,952	1,167	516	8.3%	45.9%	45.8%	

※2：特別養護老人ホームむらおかこぶし園

行政区	人数						割合			限界集落
	総数	0-14歳	15-64歳	65歳以上	(75歳以上)	(85歳以上)	0-14歳	15-64歳	65歳以上	
神場	24	0	7	17	13	8	0.0%	29.2%	70.8%	✓
広井	57	5	28	24	17	8	8.8%	49.1%	42.1%	
水間	88	9	44	35	22	10	10.2%	50.0%	39.8%	
野間谷	40	6	15	19	8	2	15.0%	37.5%	47.5%	
実山	57	3	23	31	22	13	5.3%	40.4%	54.4%	✓ ※ 3
平野	42	1	19	22	15	8	2.4%	45.2%	52.4%	✓
茅野	69	4	26	39	21	8	5.8%	37.7%	56.5%	✓
新屋	104	4	40	59	35	14	3.8%	38.5%	56.7%	✓
秋岡	220	33	95	92	48	22	15.0%	43.2%	41.8%	
東垣	24	3	9	12	2	-	12.5%	37.5%	50.0%	✓
佐坊	49	2	15	32	17	6	4.1%	30.6%	65.3%	✓
鍛冶屋	47	4	19	24	17	6	8.5%	40.4%	51.1%	✓
貫田	108	12	41	55	32	11	11.1%	38.0%	50.9%	✓
忠宮	62	6	22	34	19	11	9.7%	35.5%	54.8%	✓
久須部	16	0	2	14	10	6	0.0%	12.5%	87.5%	✓
大谷	303	43	143	117	65	23	14.2%	47.2%	38.6%	
城山	104	11	44	49	27	16	10.6%	42.3%	47.1%	
神水	218	7	58	153	128	88	3.2%	26.6%	70.2%	✓ ※ 4
石寺	66	3	24	39	26	12	4.5%	36.4%	59.1%	✓
猪之谷	12	0	4	8	3	-	0.0%	33.3%	66.7%	✓
熱田	X	X	X	X	X	X				✓ ※ 3
小代区計	1,710	156	678	875	547	272	9.1%	39.6%	51.2%	

※ 3 : 熱田を実山に合算

※ 4 : 特別養護老人ホームこぶし園

○教育・保育の体制

令和3年4月1日現在

学年		区分			香住区			村岡区			小代区				
満6歳	5歳児	3年生	香住第二中学校	佐津小学校	佐津幼稚園	柴山保育所	余部小学校	余部幼稚園	香住第一中学校	射添小学校	射添幼稚園	宝樹保育園	小代中学校	小代小学校	小代認定こども園
				放課後児童クラブ スマイルさつ	放課後児童クラブ スマイルあまるく			放課後児童クラブ ふれあいさつ		放課後児童クラブ かがやきあじろ					
				奥佐津小学校	奥佐津幼稚園			長井小学校		長井幼稚園	村岡小学校			村岡幼稚園	
				放課後児童クラブ スマイルおくさつ	放課後児童クラブ スマイルしばやま			放課後児童クラブ スマイルながら		放課後児童クラブ ふれあいむらあか	兎塚小学校			うづが幼稚園	
				香住小学校	幼香住幼稚園			香住小学校		香住幼稚園	兎塚小学校			うづが幼稚園	
				放課後児童クラブ スマイルがすみ	保預かり			放課後児童クラブ スマイルあいら		放課後児童クラブ ふれあいさつ	兎塚小学校			うづが幼稚園	
満5歳	4歳児	2年生	香住第二中学校	奥佐津小学校	奥佐津幼稚園	柴山保育所	余部小学校	余部幼稚園	香住第一中学校	射添小学校	射添幼稚園	宝樹保育園	小代中学校	小代小学校	小代認定こども園
				放課後児童クラブ スマイルおくさつ	放課後児童クラブ スマイルしばやま			放課後児童クラブ スマイルあいら		放課後児童クラブ ふれあいさつ	兎塚小学校			うづが幼稚園	
				香住小学校	幼香住幼稚園			長井小学校		長井幼稚園	村岡小学校			村岡幼稚園	
				放課後児童クラブ スマイルがすみ	保預かり			香住小学校		香住幼稚園	兎塚小学校			うづが幼稚園	
				放課後児童クラブ スマイルさつ	放課後児童クラブ スマイルあまるく			放課後児童クラブ スマイルながら		放課後児童クラブ ふれあいむらあか	兎塚小学校			うづが幼稚園	
満4歳	3歳児	1年生	香住第二中学校	奥佐津小学校	奥佐津幼稚園	柴山保育所	余部小学校	余部幼稚園	香住第一中学校	射添小学校	射添幼稚園	宝樹保育園	小代中学校	小代小学校	小代認定こども園
				放課後児童クラブ スマイルおくさつ	放課後児童クラブ スマイルしばやま			放課後児童クラブ スマイルあいら		放課後児童クラブ ふれあいさつ	兎塚小学校			うづが幼稚園	
				香住小学校	幼香住幼稚園			長井小学校		長井幼稚園	村岡小学校			村岡幼稚園	
				放課後児童クラブ スマイルがすみ	保預かり			香住小学校		香住幼稚園	兎塚小学校			うづが幼稚園	
満3歳	2歳児	3年生	香住第二中学校	奥佐津小学校	奥佐津幼稚園	柴山保育所	余部小学校	余部幼稚園	香住第一中学校	射添小学校	射添幼稚園	宝樹保育園	小代中学校	小代小学校	小代認定こども園
				放課後児童クラブ スマイルおくさつ	放課後児童クラブ スマイルしばやま			放課後児童クラブ スマイルあいら		放課後児童クラブ ふれあいさつ	兎塚小学校			うづが幼稚園	
				香住小学校	幼香住幼稚園			長井小学校		長井幼稚園	村岡小学校			村岡幼稚園	
満2歳	1歳児	2年生	香住第二中学校	奥佐津小学校	奥佐津幼稚園	柴山保育所	余部小学校	余部幼稚園	香住第一中学校	射添小学校	射添幼稚園	宝樹保育園	小代中学校	小代小学校	小代認定こども園
				放課後児童クラブ スマイルおくさつ	放課後児童クラブ スマイルしばやま			放課後児童クラブ スマイルあいら		放課後児童クラブ ふれあいさつ	兎塚小学校			うづが幼稚園	
満1歳	0歳児	1年生	香住第二中学校	奥佐津小学校	奥佐津幼稚園	柴山保育所	余部小学校	余部幼稚園	香住第一中学校	射添小学校	射添幼稚園	宝樹保育園	小代中学校	小代小学校	小代認定こども園
				放課後児童クラブ スマイルおくさつ	放課後児童クラブ スマイルしばやま			放課後児童クラブ スマイルあいら		放課後児童クラブ ふれあいさつ	兎塚小学校			うづが幼稚園	

認定こども園化の検討について

1 認定こども園の概要

(1) 認定こども園とは

- ① 就学前の子どもに幼児教育・保育を提供する機能
保護者が働いている、いないにかかわらず受け入れて、教育・保育を一体的に行う機能
- ② 地域における子育て支援を行う機能
すべての子育て家庭を対象に、子育て不安に対応した相談活動や、親子の集いの場の提供を行う機能

(2) 認定こども園の類型

※ 次の類型ごとにより、法的性格、設置主体、職員の資格要件、給食の提供、開園日・時間の要件が異なる。

- ① 幼保連携型（学校かつ児童福祉施設）
- ② 幼稚園型（幼稚園＋保育所機能）
- ③ 保育所型（保育所＋幼稚園機能）
- ④ 地方裁量型（幼稚園機能＋保育所機能）

(3) 認定こども園のメリット・デメリット

○メリット

- ・ 保護者の就労状況に関わりなく、就学前の学校教育・保育を一体的に受けられる。
- ・ 人口減少地域でも、一定規模の集団の中で育つことができる。
- ・ 仕事を持つ親と、そうでない親との理解、交流ができる。
- ・ 施設を自ら選択できる。
- ・ 待機児童対策になる。（幼保連携型・幼稚園型）
- ・ 幼稚園単体での維持が困難地域で幼稚園機能を維持（幼保連携型、保育所型）

○デメリット

- ・ 保護者の迎えの時間が異なることから、子どもへの配慮が必要となる。
- ・ 一つの施設にもかかわらず、1号子どもと2号・3号子どもで入園手続き等が異なり、事務が煩雑になる。（1号：教育（3歳以上）、2号：3歳以上の保育、3号：3歳未満の保育）

[以下、幼稚園から移行の場合]

- ・ これまで受け入れていない3歳児未満の受け入れが可能となる。（受け入れないことも可）
- ・ 調理室を整備する必要がある。

[以下、保育所から移行の場合]

- ・ 保育料を直接徴収しなければならない。
- ・ 未収金が生じた場合、督促等の事務が発生するとともに、園の負担となる。

2 香美町における幼稚園、保育所（園）、認定こども園の状況と課題

(1) 就学前教育・保育施設の状況（資料5参照）

○幼稚園

- ・小代区を除く各小学校区に設置
- ・香住区は香住幼稚園、柴山幼稚園（各1年制）を除き2年制、村岡区は1年制

○保育所（園）

〔公立〕柴山保育所（香住区）

〔私立〕みなと保育園（香住区）、青葉保育園（香住区）、宝樹保育園（村岡区）

○認定こども園

〔公立〕小代認定こども園（小代区）

(2) 香美町施設の認定こども園化について

① 第2期子ども・子育て支援計画における認定こども園化に関する記載

『3. 教育・保育の一体的提供と推進に関する体制の確保』

(1) 就学前教育・保育施設の認定こども園化の推進

認定こども園は、幼稚園及び保育所の機能を併せ持ち、保護者の就労状況及びその変化等によらず柔軟に子どもを受け入れることができる施設です。

認定こども園化については、既存の教育・保育施設の意向に配慮し、今後5年間における既存施設の状況、あるいは幼稚園、小・中学校のあり方等を勘案し、関係者や保護者の意見を聞きながら議論を進め、適切な判断や支援に取り組めます。

② 現状における課題

ア) 幼稚園という供給体制が整っている上で、同地域において認定こども園との併存は困難である。

イ) 香美町の幼稚園はすべて小学校と同一敷地内に併設しており、教育委員会として就学前1年間を重要な教育機会と捉えて小学校を含めた7年間の教育を従来から推進している。方針や体系の見直しが必要となる。

ウ) 幼稚園児の教育環境改善を図るため、香住幼稚園と村岡幼稚園を改築しており、財産処分の時期によっては国庫補助金返還となることが想定される。

- ・香住幼稚園 … 平成25年8月建築（令和6年度以降は返還不要）
- ・村岡幼稚園 … 平成27年2月建築（令和7年度以降は返還不要）